

「北海道・北東北の縄文遺跡群」を構成する市内の史跡

亀ヶ岡石器時代遺跡

縄文晩期(紀元前1,000年~300年頃)の遺跡。江戸時代から優れた土器が多数出土することで知られる。土坑墓群、漆塗土器、ヒスイ製玉類、大型の遮光器土偶などが発見された。



田小屋野貝塚

縄文前期(紀元前4,000年~2,000年頃)の集落遺跡。ベンケイガイの貝輪が多数見つかリ、製作が行われていたことが明らかになった。環境や生業、生産活動を知る上で重要な遺跡。



縄文ファンが訪れたJOMON亀ヶ岡文化フォーラム



フォーラムでは、市教委の羽石学芸員による市内史跡の特徴を紹介する講話に続き、木造高校2年の澤田渉さんが、遺跡を活用した魅力ある地域づくりについて、デジタル技術を活用した遺跡の見える化推進など具体的な事業提案を発表。講演の最後は、地域住民と外国人旅行者を繋げるための事業を展開するグローバルテーブル合同会社の山内リチャードソン澄子代表が、インバウンド(訪日外国人旅行)を受け入れ、その満足度を上げるために取り組むべきことについて講演しました。

パネルディスカッションでは、パネラーそれぞれの立場から縄文遺跡の魅力発信について意見を出し合い、市が誇る2つの遺跡をどうアピールし育てていくかを来場者と一緒に考えました。

縄文の魅力発信をみんなの手で

政府が1月16日に「北海道・北東北の縄文遺跡群」の推薦書をユネスコに提出し、世界文化遺産登録の実現へ期待が高まる中、「JOMON亀ヶ岡文化フォーラム2020」が1月25日、松の館で開催され、市民ら約150人が熱心に耳を傾けました。

■ パネルディスカッション

テーマ

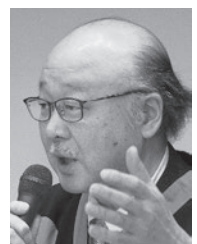
「つがる市の縄文遺跡の魅力をみんなで発信しよう」



山内 R. 澄子 氏
グローバルテーブル
合同会社 代表

世界遺産になるというのはとてもインパクトがあることで、世界中から人が押し寄せることも考えられます。地域全体で共通のビジョンを持ち、相手に伝わる言葉で価値を伝える準備、例えば外国語表記の充実や外国語ガイドの育成などできることから取り組むことが必要です。

市民の関心をもっと高めるため、地元の歴史・文化を学ぶ時間を小中学校の授業に取り入れて欲しい。また、難しい考古学のことを教えるばかりではなくて、子どもたちが縄文で遊べる環境も作っていくべき。そうやって、小さい頃から縄文の面白さを根付かせることが大切です。



川嶋 大史 氏
つがる縄文の会
理事長

亀ヶ岡の出土品のいくつかは、市外へ出て行き国内外の博物館にある。地元としては残念なことですが、どこにあるかも含め正確な情報を伝えることで、「亀ヶ岡」をキーワードに、観光客の旅の選択肢が広がっていく。そういうこともつがる市から発信して行きたいと思います。



羽石 智治
市学芸員

つがる市消防団出初め式 - ワンチームで士気高める -

つがる市消防団（箱田鐵雄消防団長）の出初め式が1月5日、市役所周辺で開催されました。



寒空の下、福島市長らによる服装点検を受ける消防団員

出初め式には56分団から団員約1,000人と消防車両約80台が参加。雪が舞う中、観閲者の福島市長による服装点検を受けた団員らは、ラッパ隊の演奏に合わせて勇壮に分列行進し、本年の活動に向けて士気を高めました。

松の館で行われた式典では、福島市長が「災害に対し日々緊張感を持ち、迅速な対応ができるよう万全を期してください」と団員らを激励。続いて箱田消防団長が「団員同士の絆を深め、ワンチームの組織体制を構築しよう」と訓示しました。表彰では、リンゴ収穫期に盗難防止の夜間パトロールを自発的に行った森田第9分団（勝山）が団長表彰、勤続30年以上の勇退団員8人が感謝状を受けました。



規律厳正な分列行進で士気を高める



消防車両の隊列に演奏を送るラッパ隊

こんにちは！
つがるちゃんです

東京、北海道へつがるブランドをお届け!

昨年の11月、つがる市のおいしい農産物や加工品をPR販売してきました。毎年おじゃましている町田市と白老町では、たくさんのお客さまが心待ちにしてくれていて、とても嬉しかったです。

また、今回はSNSを見て来られた方も多く、新たな時代になったことを改めて実感しました。

今年はオリンピックイヤー。世界中からたくさんの観光客が日本を訪れるので、つがる市のおいしい農産物を世界にも発信していきたいと思えます。



●11/23、11/24 東京都町田市

ぼっぼ町田で「つがる市秋の味覚物産フェア」を開催しました。福島市長や平川議長をはじめ、生産者、農協職員、津軽まほろば会の方々が、ナガイモやリンゴ、米、加工品を販売。リピーターも回を重ねるごとに増えています。

●11/30 北海道白老町

白老町コミュニティセンターで「つがる市特産品即売フェア」を開催。リンゴやナガイモなど旬の農産物や加工品を販売しました。朝早くから並んでくださる方もいて、おいしいものが豊富な北海道でも、つがる市産の農産物は大人気です。



大盛況だった白老町での即売フェア